

川村ひろあき活動レポート

2010.09.23 Vol.65

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町480-6

◎はじめに．．．。

ようやく今夏の酷暑が終わり、秋らしさを実感するこの頃ですが、如何お過ごしでしょうか。

また日頃より絶大なるご支援・ご協力を賜わっておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年第3回千葉市議会定例会が8月26日に開会し、9月17日に閉会しました。[本年度は千葉国体開催のため、例年よりも2週間ほど早い日程でした。]

今回の定例会では、平成21年度千葉市一般会計及び特別・企業会計の決算の認定と平成22年度補正予算、条例案などの市長提出の19議案と議員提案の発議を審議しました。

平成21年度千葉市一般会計及び特別・企業会計の決算審査に当たっては、決算審査特別委員会の副委員長に就任し、第1分科会（財政局、総務局、教育委員会などを担当）の主査として分科会を取り仕切り、担当部局の決算に対する指摘事項の取りまとめを行ないました。

依然、千葉市の財政は厳しい状態ですが、市民にとって何が重要で、千葉市の未来に何が必要なのか検討し、実践していこうと思います。

これからも、変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



◎高速バス・マイタウンダイレクトバスについて

昨年5月20日に開設された「マイタウンダイレクトバス千葉北線」の続編として、この9月から東関東自動車道四街道IC、千葉北ICを経由する「臼井・ユーカリが丘線」と京葉道路貝塚ICを経由する「千城台・八街線」が開通しました。

特に「臼井・ユーカリが丘線」のうち、千葉北ICを経由する便は、み春野地区に停まります。ただ便数が少なく、時間帯が良くないので、引き続きバス事業者にも朝晩の通勤時間帯の増便を求めていると思います。

[み春野便ダイヤ（平日）： 上り：5:43 8:43 16:23 下り：21:35（東京駅発）]

また今後、これまでの千葉北線の増便や、こてはし台団地・さつきが丘団地発の便、新宿駅・羽田空港などへの便の追加と、美浜区の海浜地区からの便、京葉道路松ヶ丘ICを利用した東京行き路線の新設をバス事業者と詰めていこうと思います。

◎平成22年第3回定例会の一般質問について。（ご報告）

8月26日から始まった平成22年第3回定例会（3月19日閉会）でも、一般質問を行ないました。項目は右記のとおりです。

1点目の千葉市の花「オオガハス」では、「オオガハス」が千葉市の花として制定された経緯・普及活動・今後の取り組みについてと東大緑地植物実験所との関わりについてお尋ねし、緑地植物実験所の本市での存続を求める決議が今議会で全会一致で採択されたことなどを踏まえ、今後も東京大学や文部科学省に存続を求めていくよう強く求めました。

2点目の企業誘致と産業育成では、企業誘致件数・工業団地の分譲状況、市内インキュベート施設の入居状況などについてお尋ねし、東関道千葉北IC付近や臨海部では工場進出のニーズはあるものの用地がないことから、用途地域の見直しを含め、ニーズに対応する施策を展開を求めると共に、地域経済活性化を強く求めました。

3点目の幕張メッセでは、過去3年間の利用実績、東京モーターショーのビックサイト移転に伴う影響についてなどお尋ねし、幕張メッセ周辺地区を含めた活性化に努力するよう要望しました。

4点目の自転車とバイクの駐輪対策では、JR新検見川駅周辺の放置自転車対策や商店街の駐輪対策、バイクの駐車場対策についてお尋ねし、JR新検見川駅周辺の市所有の未利用地などを活用した駐輪場整備の早期実現や自転車駐輪場へのバイクの受け入れを行なうよう求めました。

5点目の清涼飲料水とペットボトルでは、過去3年間の回収量とリサイクル協会への引渡し量とそれに伴う協会からの拠出金額（千葉市に資源物の売り上げとして入ってくる金額：歳入）についてお尋ねしました。

今後とも千葉市が抱えている様々な課題・問題等の解決に全力で取り組んでいこうと思います。是非、ご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

平成22年第3回定例会

9月15日（水）

16:00~17:00

◎一般質問通告項目

- 1 千葉市の花「オオガハス」について
- 2 企業誘致と産業育成について
- 3 幕張メッセについて
- 4 自転車とバイクの駐輪対策について
- 5 清涼飲料水とペットボトルについて

◎東京大学「緑地植物実験所」の本市での存続を求める決議について

この決議は自民党から提案し全会一致で採択されました。[以下が決議文です]

現在、国立大学法人東京大学は本市花見川区にある「緑地植物実験所」を西東京市の多摩農場へ移転しようとしている。

同実験場は、昭和26年に隣接地の東京大学総合運動場で大賀一郎博士が発掘し、千葉県の天然記念物、また、本市の花にも指定されている約2,000年前の「大賀ハス」を系統保存している、かけがえのないすぐれた研究施設である。

また、昭和29年に園芸実験所として開設されて以来、緑地植物学等に多くの成果を上げ、実験所内には「大賀ハス」を初め200種を超える国内外のハスが栽培されており、毎年夏には、地元の恒例行事として40年以上も続いている花園ハス祭り「観蓮会」が開催され、5,000人以上のハスの愛好者が訪れている。

平成20年第1回本市議会定例会では、地元の町内自治会連絡協議会から「緑地植物実験所の存続」を求める請願が提出され、全会一致で採択されたところであり、その後、平成20年12月と平成22年2月の2回にわたり、同連絡協議会から東京大学に対し、「緑地植物実験所の存続」を求める約47,000人の署名簿が提出されるなど、本市全体で同実験所の存続が切望されている。

同実験所の4.7ヘクタールにも及ぶ広大な敷地は、市街地に残された貴重な緑地であり、地域のオアシスとして親しまれており、緑の保全という面からも、同実験所の移転は本市にとって大きな損失である。

よって、本市議会は、本市の文化、歴史、環境面に大きく貢献している東京大学「緑地植物実験所」の本市での存続を強く求めるものである。以上、決議する。 [提出先： 国立大学法人東京大学総長、文部科学大臣]

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0042

千葉市花見川区花島町480-6

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071